

学校通信

けやき小

教育目標 確かな一歩



令和3年2月26日
西東京市立けやき小学校



<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-keyaki/>

E-mail e-keyaki@nishitokyo.ed.jp

今年度を振り返って

校長 黒羽 次夫

1月7日に発令された緊急事態宣言は3月7日まで延長され、学校では更なる感染対策を求められます。3月7日に宣言が解除されたとしても、感染対策を緩めるわけにはいきません。

さて3月を迎え、いよいよ令和2年度も最後の月を迎えました。今年度は、何と云っても新型コロナウイルス感染症への対策をしながら教育活動をしてきた一年でした。今年度の本校の教育活動を本校の児童に身に付けさせる資質・能力を中心に振り返ってみます。まず、課題解決力ですが、「なぜだろう、どうなるだろう」と深まる学びを目指してきました。子供たちが学習において問いや疑問をもって取り組み、主体的に課題解決する力を育ててきました。その成果として、1月に実施した「けやきテスト」ではどの学年も向上しました。平均正答率が9月に実施したもの比べて20ポイント近く向上した学年もありました。4・5月が臨時休校となり、学校再開が6月ということもあり、とにかく年間における授業時間数の確保と学習内容の履修を重点として教育活動を行うことに絞ってきました。その中で学校全体の計画を見直したり、学習内容を工夫したりして授業時間数を確保し、学習内容も履修させることができました。今後、学習した内容をしっかり定着させていくことが課題です。人間関係形成力については、自分を大切にし、他の人も思いやる心づくりを目指してきました。コロナの影響で感染しないために予防を徹底し、自分を大切にさせました。また、感染者への偏見・差別をなくすことを通して他の人も大切にすることを学んできました。しかし、学校行事やかかわりを重視した学習活動の制限の中で十分にできないことがありました。実践力では、規則正しく生活し、たくましく健やかな体づくりを目指してきました。その中で、感染予防を通して健康の増進と体力の向上を図ってきました。しかし、体育の授業が制限されたり、運動会も体育発表会となったりしました。このように、コロナ対策をしながらの一年でしたが、学校では感染状況を見ながらできることをできることから実践してきました。今年度の教育活動を実施できたのも、保護者の皆様や地域の皆様の御理解と御協力があったからです。また、忘れてはいけないのが子供たちの頑張りや適応力です。来年度は教育目標の「確かな一歩」を達成するために児童に身に付けさせる資質・能力を見直し、子供にも保護者の皆様や地域の皆様にも分かりやすくしていくことを検討しています。そのことにより、子供を中心に据えた学校、家庭、地域が一体となった教育活動ができると考えています。

3月は、進級や卒業に向けて取り組む時期です。残りの一ヵ月を大切に、子供たちが達成感をもって次のステージに進めるようにしていきたいと思えます。4月からも感染症対策を講じながらの教育活動となります。時差登校や学校行事等で御協力いただくことが多くなりますがよろしく願いいたします。

3月の行事予定

今月の生活目標 **計画的に整理整頓をしよう**

A 8時15分登校 B 8時30分登校

1 (月)	安全指導	15 (月)	
2 (火)		16 (火)	
3 (水)	委員会活動	17 (水)	
4 (木)		18 (木)	
5 (金)		19 (金)	
8 (月)	保護者会 (5・6年)	22 (月)	
9 (火)	保護者会 (3・4年)	23 (火)	
10 (水)	クラブ活動	24 (水)	修了式
11 (木)		25 (木)	卒業式 (6年)
12 (金)	保護者会 (1・2年)	26 (金)	春季休業日 (始) 4月5日 (月) まで

3月スクールカウンセラー来校日 3月2日 (火)・9日 (火) 予約は担任又は副校長・養護教諭まで

3月の土曜授業について

3月6日 (土) に予定していた土曜授業ですが、緊急事態宣言発令中のため中止としました。

令和3年度の行事予定について

裏面に保護者の皆様に関係する来年度の行事予定を掲載しました。今後、新型コロナウイルスの感染状況によって変更になる場合があります。4月の保護者会で確定版を配布する予定です。

ユニセフ募金活動について

今年度も代表委員会が中心となって、各学級のオープンでユニセフ募金活動を行います。期間は3月9日 (火) から11日 (木) までの3日間です。ユニセフ (国連児童基金) は、世界の子供たちへの教育や保健衛生の向上などの支援をしている国連機関の一つです。集まったお金は、日本ユニセフ協会に送ります。そして、栄養剤やワクチンなど、厳しい状況に直面する世界の子供たちを救うために使われます。

ぜひ募金に御協力いただき、お子さんと国際協力について話し合うきっかけにいただければと思います。

学級編制について

来年度の学級編制に転出入の人数が大きく影響します。転出の予定がある場合は、なるべく早めに担任までお知らせください。また、転入に関する情報がある場合も情報が入り次第、担任までお知らせください。

令和2年度 西東京市立けやき小学校 学校評価報告書

学校教育目標 確かな一歩 ・なぜだろうどうなるだろうと、深まる学びづくりに向けて（課題解決力育成）
 ・自分を大切に、他の人も大切に思いやる心づくりに向けて（人間関係形成力育成）
 ・規則正しく生活し、たくましく健やかな体づくりに向けて（実践力育成）

目指す学校像(ビジョン)

【目指す学校像】 ・互いを尊重し、健康で夢と活気のある学校
 【育てたい児童像】 ・創造的に、そして深く考えることができる児童（課題解決力育成） ・自他を尊重し、共生の意識をもつことができる児童（人間関係形成力育成） ・規則正しく生活し、心と体を健康に保つことができる児童（実践力育成）
 【求める教師像】 ・戮力協心：全員の力を結集し、一致協力して学校経営に参画する教師 ・凡事徹底：当たり前のことを、人には真似できないほど一生懸命にする教師
 ・率先垂範：人より先に立って物事を行い、児童や保護者に模範になる教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

	具体的方策	課題と対策	学校関係者評価	課題と次年度以降の対策	
課題解決力の育成	・授業におけるユニバーサルデザイン化を図り、「けやきモデル」を徹底する。	「あなたのお子さんは授業のめあてを理解しているか」「意欲的に活動しているか」「まとめたり振り返ったりしているか」と尋ねる設問に対し、授業公開がなく、保護者がそれを見取れず肯定的評価をすることができなかったと考えられる。成果物や通知表、児童から保護者への口頭伝達を通して指導の効果を分かりやすく伝えていく。	・行事の縮小や「けやきタイム」の導入により、コロナ禍においても授業時数の確保や学力向上に向けた指導の充実を図れたことについては評価できる。 ・「けやきタイム」を継続することが確実に力になっていると感じる。 ・課題解決力については、もう少し具体的に教職員の評価が聞きたい。 ・「けやきタイム」の目的、内容、その効果が保護者に十分理解されていない。	コロナ禍において日常の授業を公開する機会が極めて制限され、そのことが保護者からの低評価につながった。次年度は、コロナへの対策をしっかり取った上で、積極的な授業公開を行う。	
	・全学年で「けやきテスト」を実施し、各教科の習熟状況の分析を行い、個に応じた指導を実施する。	9月に「けやきテスト」を実施した結果、平均正答率が昨年度より数ポイント低下した。これは、コロナ禍による臨時休校が少なからず影響していると考えられる。各学年で分析を行い、計画的に朝学習等で東京ベーシック練習シートやショートドリルに取り組むことで基礎的・基本的内容の確実な定着を図っていく。1月に「けやきテスト」を再度実施し、習熟状況を検証する。		・成果目標については、問うべき目的や対象を十分精査すべきである。 ・言葉が保護者に分かりづらい。保護者に通じる平易な言葉にする。また、設問内容にどの部分に意識を置くかによって個々の解釈が異なってしまうためポイントが分かるようにする。 ・全体的に成果目標の評価基準の設定が高すぎる。 ・メールによるアンケート回収の方法についてよかった。ただし、どの学年においても回収率が少ないと感じる。	学力の一層の向上を目指し、来年度4月より、基礎・基本の徹底を図るための指導を「けやきタイム」において計画的に展開していく。
	・「けやきタイム」の充実を図り、個別指導の工夫とともに補充指導及び発展指導を実施する。	年間指導計画を確認しながら、学習内容の定着を図っていく。「けやきタイム」や補充指導等について学年便りや保護者会を通して、各家庭にも取り組みを紹介していく。		・言葉が保護者に分かりづらい。保護者に通じる平易な言葉にする。また、設問内容にどの部分に意識を置くかによって個々の解釈が異なってしまうためポイントが分かるようにする。	「けやきテスト」の結果を精査・分析した上で、「けやきタイム」における指導に反映していく。指導内容や成果は、通信や保護者会、面談を通して、保護者に向けて広報を行っていく。
	・算数科において習熟度別指導等を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。	習熟度別学習に対する児童の肯定的な回答は、96.4パーセントであった。自分にあったコースで学習できる習熟度別算数が、児童の安心感や自ら学ぶ意欲を引き出すことにつながっていると考えられる。今後引き続き、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童の能力・興味・関心等に応じてさらに学習を広げたり、進めたりしていく。また、習熟の程度が十分でない児童については、少人数のグループ編成を行い、きめ細かく指導していく。		・メールによるアンケート回収の方法についてよかった。ただし、どの学年においても回収率が少ないと感じる。	クラス数+1クラス展開の算数科習熟度別指導に関しては、児童、保護者が学力向上につながる良さを概ね理解できていくと考える。来年度、複数回の授業公開を通して保護者の評価・信頼をより一層高めたいけるよう努めていく。
	・第5・6学年において教科担任制を導入し、指導の充実を図る。	今年度から開始された制度で、保護者の中にも児童の中にも意義や効果が十分に浸透しているとは言いきれない。教材研究を深め、より良い授業を展開し、学力の定着を目指し、児童の変容を通してその効果を伝えていく。		・全体的に成果目標の評価基準の設定が高すぎる。 ・メールによるアンケート回収の方法についてよかった。ただし、どの学年においても回収率が少ないと感じる。	専門性を生かしたり、教材研究を深めたりすることによる授業の効果を次年度、学校公開等を通してより丁寧に保護者に伝えていく。
・田無第三中学校と連携を進め、授業改善を図る。	今年度はコロナ感染予防対策による影響で、田無第三中学校との授業・体験交流等は中止となった。10月に、昨年度までの小・中連携に関わる取り組みについて確認するとともに、互いの児童・生徒の情報を共有した。		・ポストコロナ、withコロナにおいては何かができるのか、行事も含め検討する必要がある。その中で、これからの時代に不可欠な人間形成、様々な子供の活躍の保証、地域の人たちのつながりを絶やさない教育活動をお願いしたい。 ・地域における日頃の児童の様子から大人に対しては挨拶も言葉遣いもよくできている。一方で、子供同士の言葉遣いには課題があると感じる。	現在検討中である中学校教員による小学校での出前授業等を通して、小中間におけるより一層の連携を図っていく。	
人間関係形成力の育成	・場に応じた正しい言葉遣いや相手の立場に立った思いやりのある言葉遣いへの意識を高めるために、教職員が手本となって言語環境を整える。	場に応じた正しい言葉遣いについては保護者からも肯定的な評価をいただいた。「西東京市子ども条例」や「西東京あったか先生」にもあるように、教師自らが児童の手本となるような言葉遣いを心掛け、児童を呼名する際は絶対に呼び捨てをしない。児童自らが気持ちの良い挨拶、思いやりのある言動、返事等ができるように教育活動全体を通して指導し、言語環境を整えていく。		・ポストコロナ、withコロナにおいては何かができるのか、行事も含め検討する必要がある。その中で、これからの時代に不可欠な人間形成、様々な子供の活躍の保証、地域の人たちのつながりを絶やさない教育活動をお願いしたい。 ・地域における日頃の児童の様子から大人に対しては挨拶も言葉遣いもよくできている。一方で、子供同士の言葉遣いには課題があると感じる。	児童自ら挨拶をする様子が見られるが、十分とは言えない状況である。友達への言動についても、思いやりや欠ける部分も見受けられるため、次年度以降は更に校内での言語環境を整えていく必要がある。「西東京市あったか先生」についても一層推進していく。
	・グローバルな社会を生き抜くために、異なる考えをもつ他者とのかかわりや対話を重視した教育活動を展開する。	自己を大切にすることと同じように他者も尊重できる姿勢をより一層身に付けさせていく。多様性についても児童の実態に合わせて指導していく。授業では、意図的に他者とのかかわりや対話の時間を設け、自己の考えと他者の考えの違いや共通点に気付かせたり、多様な考えがあることの良さに気付かせるようにしていく。		・ポストコロナ、withコロナにおいては何かができるのか、行事も含め検討する必要がある。その中で、これからの時代に不可欠な人間形成、様々な子供の活躍の保証、地域の人たちのつながりを絶やさない教育活動をお願いしたい。 ・地域における日頃の児童の様子から大人に対しては挨拶も言葉遣いもよくできている。一方で、子供同士の言葉遣いには課題があると感じる。	コロナ禍の中ではあったが、新しい生活様式を意識した過ごし方ができ、児童同士が自分の思いを伝え合う活動を意図的に行うことができた。次年度は、今年度の校内研究等で培った力を他教科にも広げて実践していくことで更に力を身に付けさせていく。
	・学校いじめ基本方針に基づき、全校でいじめ防止に取り組む。	学校ではいじめ防止研修を行いいじめの定義や防止等について共通理解を図った。今後もいじめを生み出さない学級及び専科経営を続け、いじめに対して組織的に対応し、早期発見・早期解決を目指していく。年3回のふれあい月間を活用し、いじめに関する授業を行う中で、児童がいじめを自分事として考えるようにしていく。		・ポストコロナ、withコロナにおいては何かができるのか、行事も含め検討する必要がある。その中で、これからの時代に不可欠な人間形成、様々な子供の活躍の保証、地域の人たちのつながりを絶やさない教育活動をお願いしたい。 ・地域における日頃の児童の様子から大人に対しては挨拶も言葉遣いもよくできている。一方で、子供同士の言葉遣いには課題があると感じる。	いじめ防止研修等を確実に行ったことで、教職員全体でいじめの早期発見、早期解決、組織的に対応することを年間を通して実践することができた。SNSでのトラブルがあったため、次年度は情報モラルやSNSでのいじめやトラブルに対応していくようにする。
実践力の育成	・生活リズムカードを活用し、家庭と連携しながら「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着を図る。	生活習慣の乱れからか、元気がない様子や眠そうにしている児童が見受けられる。基本的な生活習慣を身に付けるためには、学校だけでなく家庭の協力も必要である。本年度はコロナの影響により健康観察表を活用して家庭との連携を図っている。今後は、生活リズムカードも一定期間併用し児童の健康及び生活習慣の改善に努めていく。	・コロナ禍において、行事が大幅に縮小されたことにより、みんなでやり遂げる経験が保障できているのか心配である。通常の行事が難しい状況ではあるが、それに代わる活動をお願いしたい。	今年度も学期の初めに生活リズムカードの取り組みを行った。保護者のアンケートにこの実践を通して基本的な生活習慣を意識することができるとの肯定的な意見があったため、次年度以降も引き続き取り組んでいくようにする。	
	・体力向上を図るため、体力・運動能力調査の結果を分析し、体育の授業改善や年間を通した体力づくりの取組の充実を図る。	今年度は、体力・運動能力調査が中止されたため、本項目について教員は評価できなかった。コロナ禍の中、行事の実施や学校公開、体育の授業や体育的活動が制限される中であるが、体力づくりの取組の工夫をさらに図っていく。		・コロナ禍において、行事が大幅に縮小されたことにより、みんなでやり遂げる経験が保障できているのか心配である。通常の行事が難しい状況ではあるが、それに代わる活動をお願いしたい。	休み時間の外遊びや体育の授業における運動が制限されたため運動量が減少した。体育の年間指導計画や学期に1回行われる運動週間を見直し改善することで、児童の運動量を底上げし体力向上を図っていく。
	・計画されている年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック教育を確実に実施する。	各学年において、年間指導計画を確認しながら教員の共通理解を図る。保護者の方にも、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みについて、学年通信等で情報を発信していく。		・コロナ禍において、行事が大幅に縮小されたことにより、みんなでやり遂げる経験が保障できているのか心配である。通常の行事が難しい状況ではあるが、それに代わる活動をお願いしたい。	講師を招いた授業の一部、運動会の中止等により計画通りの実施ができなかった。オリンピック・パラリンピック教育担当を中心に情報交換しながら地域人材・外部講師の活用、オリンピック・パラリンピックノートの確実な活用をしていく。

令和3年度 学校行事について

1学期		
4月	6日(火)始業式 8日(木)2～6年給食開始 5・6年保護者会 9日(金)3・4年保護者会 12日(月)1・2年保護者会	16日(金)3年遠足 20日(火)1年給食開始 23日(金)4年遠足 28日(水)1年遠足・離任式 30日(金)2年遠足
5月	14日(月)5年遠足 21日(金)引渡し訓練	
6月	12日(土)土曜授業・セーフティ教室	
7月	9日(金)個人面談① 12日(月)個人面談② 13日(火)個人面談③ 15日(木)個人面談④	16日(金)個人面談⑤・6年保護者会 19日(月)給食終 20日(火)終業式
2学期		
8月	30日(月)始業式	
9月	1日(水)1・2年保護者会 2日(木)3・4年保護者会 3日(金)5年保護者会 6日(月)給食始 6年移動教室始	8日(水)6年移動教室終 18日(土)土曜授業・道徳授業地区公開講座
10月	2日(土)体育発表会 30日(土)4・5・6年音楽発表会	
11月	27日(土)1・2・3年音楽発表会 5年ラグビー交流会 30日(火)3年社会科見学	
12月	3日(金)20周年記念式典 20日(月)個人面談① 21日(火)個人面談② 22日(水)個人面談③	23日(木)給食終 24日(金)終業式
3学期		
1月	11日(火)始業式	
2月	22日(火)1・2年保護者会 けやきミュージアム始 24日(木)3・4年保護者会 25日(金)5・6年保護者会 けやきミュージアム終	
3月	22日(火)給食終 24日(木)修了式 25日(金)卒業式	